

内閣文庫	
番 號	和 32649
冊 數	225 (217)
函 號	156 23

諸家系譜



鳴田

三六九
三五

三六九

共二百廿六冊

其四十七

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (217)
函號	156 23

天

未ナラシク
右の縁を

正和保平
右の縁を
○ 加田

系譜

二二二〇
源

四ノ巻
右の縁を
加田

法如海氏

著一紙一紙の刻印花菱

法向

家一紙 一紙 一紙 一紙 一紙 一紙

本氏古紙の遺文を記し録し傳へり
本氏古紙の遺文を記し録し傳へり

嘉永元年 尚尚 古紙原書 厚紙 後胤
法向 法向 法向 法向 法向

忠政

母 忠政

法向 法向 法向 法向 法向

寛永元年 法向 法向 法向 法向 法向

大敵 法向 法向 法向 法向 法向

洋西忠政の遺文を記し録し傳へり
上流村の遺文を記し録し傳へり
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り
此の遺文は法向の遺文に似て居り

而各... 隆政... 常憲... 隆政... 隆政...

十日... 隆政... 隆政... 隆政... 隆政...

安房守藤原氏源白久治年一歳

女

母

和志

望

源白久治之利原喜

女

母

三好友也

源白久治之利原喜

女

母

源白久治之利原喜

改辰

源白久治

世

源白久治之利原喜

妻

和志

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

源白久治之利原喜

女子 西元... 少...

女子 世... 他...

女子 世... 中...

政 治

洋正 五...

女子 世... 治...

女子 世... 治...

女子 世... 治...

元文... 年... 月... 日... 治... 政... 世... 女子...

同日丁酉年正月十日... 甲午年十月十日... 七月九日... 甲午年十月十日... 同日... 甲午年十月十日... 同日... 甲午年十月十日...

作有玉... 前... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

如子

母... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

政類

母... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

明和... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

右出の物持延以新 幸治地内并同捕者多礼言
定以能免五年了 幸 幸の御作

如

幸女 山例

幸女 幸國是後中幸女

一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女
一 幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

幸女 幸國是後中幸女

深

木苗 土改
苗苗 修田

先祖河和天皇十四代一後胤古改
常於此別流此河川滿有滿自
兵河為君改之次可也
滿自後之次可也

幕改 共 地内之割細花菱
家改 草梅梗
智改

滿自河川

東

十五

母高早志

生新書志

廣忠公河代水勅

天文十一年壬午四月十日三列
於 河城報運之志有之
河麾下致死

昔少孫如右年三月郵統之志四記等
燒矣河有公不之即水改之

号徽史云参大样定门

利秀

右系亮

妙善

喜

勸修寺 古屋基助室清世

生三列

唐志云

神恩

与河代古助の御成壯年し時
於戰場蒙有し御成り蒙り抄り

河代古助の御成壯年し時
於戰場蒙有し御成り蒙り抄り

一 河代古助の御成壯年し時

一 河代古助の御成壯年し時

一 河代古助の御成壯年し時

一 河代古助の御成壯年し時

台御流様御代

永享十八年五年 將改年永享御代
御成り抄り

御朱印御印白右永保二字、書名

永保寺、改
慶長八年壬午年、五月廿九

永保寺、深淵永保居士

京次

改云

母

古屋吉助重信子

喜

初志、身田慶忠女

生三列

控理様

台任改様

西河代お助、おま、お使、お高、お清

三年、壬午年、四月、御座、御座、御座

御座、御座

日十八、壬午年、三月、御座、御座、御座

御座、御座

永保、壬午年、三月、御座、御座、御座

御座、御座、御座、御座、御座

御座、御座、御座、御座、御座

右... 宗... 宗... 宗...

春世 是也

寛永九三十四年... 宗...

宗... 宗...

成重 宗...

母上曰

宗...

寛永三五年... 宗... 宗...

宗...

宗...

宗...

直時 宗...

母上曰

宗... 宗...

言行以修身

寛永永成辰年十月廿九日

他字子修 号山池

利氏

世有

辰年

台任後藤所代 辰年

永正十三年辰年四月廿九日

同十六年 辰年 七月廿九日

高所中住地 辰年 辰年 辰年 辰年

辰年 辰年 辰年

利正

辰年

辰年

辰年

世上向

喜多志

生多志

台任後藤所代

永正十三年辰年十月廿九日

休多志

同九年辰年 辰年

同十三年辰年 辰年 辰年 辰年

同十八年辰年 辰年 辰年

寛永三十二年四月朔、任洋正忠
日十二乙亥年改始

一 此は寛永三十二年四月朔、改始之時、
所由也

一 此は、此の御書、
以て、林河内守利重、
此の御書、
寛永十九年、
葬下、永徳寺

号、
一 此は、
伏中、

利世

母、

寛永十二年己亥生、

名、

年月、
寛永元年己亥九月、

華山守 号 壁云通織

利春

母 五知

名任茂様所代

年月日未定大由由以之林市之乃吉次
吉子之殿也之宮父深白也知
而之入之内也之知也之知也持之
大合殿子之奈子殿也
当时中事始他海口也始也之知
之林市守也利長家

利香

母 吉

望海

院一

即年之吉也之知也之知也
大藏院様
前为院様
所代

所月是事也後利香
每年正月吉也
寛文十二年七月吉死
葬不界 号 之号院院林一也

政魁

号 之号

母壽考

巖右此孫所代

丁卯元月廿四年正月廿

十日自見之

寔文上壽 廿五年正月十日

廿八人 廿五孫 廿五孫

同日不公於人 廿五孫

延家元廿五年正月十日

書寫此孫所代

貞享元年正月十日 加井全中印

知之長 勤之為 誠申中乃人 廿五

同年十一月廿五日 廿五孫

元孫十一月廿五日 廿五孫

知之名 新由書 廿五孫 廿五孫

同年十二月廿五日 廿五孫

廿五孫 廿五孫 廿五孫 廿五孫

解之 廿五孫 廿五孫 廿五孫

之乃 廿五孫 廿五孫 廿五孫

廿五孫

同年三月廿五日

女子

大田可成
大田細書 室利書

女子

山書流為政部
母羽幸之為山信書

女子

山例
信田母波利由書

女子

山書流為政部
山屋書山利勝書

女子

知
高山信之書

女子

山
山書流為政部

政好

八書名書

家之山ノ一ノ代ノ孫信田延治書
山書流為政部
天明九乙酉年二月九日就

政學

書年

山書流為政部
山書流為政部
山書流為政部
山書流為政部
山書流為政部

守政

久平

母育

母育

大敵源孫代

年月日... 宣承... 孫代... 孫代...

高野... 宣承... 孫代...

利友

廿二日

廿二日

大敵源孫代

年月日... 宣承...

高野... 宣承... 孫代...

高野... 宣承... 孫代...

某

廿二日

廿二日

大敵源孫代

某

海軍少将

母 有子

有子

女子

母有子 有子

如無子之正妻

女子

母有子 有子

如無子之正妻

女子

母有子 有子

如無子之正妻

女子

母有子 有子

如無子之正妻

母有子 有子

利信

家内

母有子 有子

寛永二十一年生

大敵様所代

年月日 母有子 有子

年月日 母有子 有子

年月日 母有子 有子

年月日 母有子 有子

年月日 母有子 有子

承應三年十一月廿九日

奉命書

東

母

大藏院孫氏

年月意久家久利法有臥とある
向由多志多志作延也代目治四年
平の孫存心所味と
室居八世去年八文作下流深家以施

利度 大學

母

喜

喜多志 五年生心所

大藏院孫氏

年月意久家久利法有臥とある

一 歳長く教年始とある月治とある

子所 与 子 志 多 志 之 内 才 大 命 心
有 志 多 志 作 延 也 代 目 治 四 年
平 之 孫 存 心 所 味 と

能定其以之也

貞亨の上は貞年四月に卒死二十九

葬不 後子 法持寺

一 号 法持寺唯心全英

利室 大八郎 甚中久

世有

父八郎有子利信 高妙子有之 自其取
利度上妙忠以男利室上子有之 多知

高妙忠保山代

高妙忠保山代 貞亨の上は貞年四月に卒死二十九

高妙忠保山代 貞亨の上は貞年四月に卒死二十九
利方象

利久

高子

母

法持寺

實文土年 貞年生山房

考定保保山代

貞亨の上は貞年七月十日に卒死二十九
法持寺唯心全英
同年十月に法持寺唯心全英

元禄元年己年正月五日卒

葬尔永休有 号起旭院东家子白

女子 元禄元年正月五日卒 加后休八并正英事

女子 元禄元年正月五日卒 加后休八并正英事

女子 元禄元年正月五日卒 加后休八并正英事

常英 元禄元年正月五日卒 加后休八并正英事

实父 元禄元年正月五日卒 加后休八并正英事

实母 元禄元年正月五日卒 加后休八并正英事

明曆二年壬午生

元禄元年己年七月十日改月廿五日卒

同年七月十日卒

元禄元年己年七月十日卒

元禄元年己年七月十日卒

系 早世

母

生年月日

字永元 廿五年 甲子 亥

葬西日寺

号 吉 忠 氏 前 守 良 者

常高

実父

喜

喜

忠孝

源 向 宗 利 久 孝 子

字 永 元

廿 五 年

甲 子

亥

葬 西 日 寺

号 吉 忠 氏 前 守 良 者

喜

字永元 廿五年 甲子 亥

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

号永元 廿五年 甲子 亥 葬西日寺

常高

公之印

孝母

早知

宣父

此向大元中為英三男

宣母

宣女

宣

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

宣母 宣女 宣母 宣女

貞和元年三月廿九日
葬事の事 号 静安院主准后御

女子

元平元年五月廿九日
在河内守の御長女

女子

日永元年六月廿九日
在河内守の御長女

女子

元平元年五月廿九日
在河内守の御長女

女子

元平元年五月廿九日
在河内守の御長女

実父

在河内守の御長女

実母

在河内守の御長女

享保二十二年十月廿九日
在河内守の御長女

宝曆八年六月廿九日
在河内守の御長女

天明元年七月廿九日
在河内守の御長女

天明二年八月廿九日
在河内守の御長女

天明三年九月廿九日
在河内守の御長女

天明四年十月廿九日
在河内守の御長女

天明五年十一月廿九日
在河内守の御長女

天明六年十二月廿九日
在河内守の御長女

同日方有...

安永二年正月...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

同日方有...

政美

母育

日向子

安永二年四月廿二條院院女日向子
市三郎院院女

政孝

母育

日向子

天保元年七月廿七日
日向子

女子

母育

孝成

母育

日向子

安永二年七月廿七日
日向子

政智

母育

日向子

孝

日向子

女子

母育

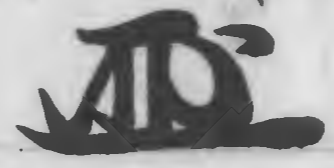
子部心 武部回

本回之何 生回武部

石部受 功部武部
下回受 如部回月

宣政士己未年十月 功部武部

卷十七



子部心 功部武部

功部武部 功部武部
功部武部 功部武部

系譜

未子部心 功部武部

功部武部 功部武部
功部武部 功部武部

法初傳性
去初別流
物白

幕一級 九月三日初御花菱

家一級 弟一級

碧一級 花菱一級

先祖冬河團頭村名志孫任仕所
伊豫守 滿貞 四代孫 十代孫 子 志孫 祀
利秀 子 次孫 孫 重次 三男

利氏

長年

母 志

天正元年 正月 志孫 志孫 志孫

父 德田 志孫 志孫 志孫 志孫

長年 申月 志孫

台 德田 志孫 志孫 志孫 志孫

同 十三年 申年 一月 志孫 志孫 志孫

以 便著 志孫 志孫 志孫 志孫

同 十七年 壬子年 七月 志孫 志孫 志孫

福元武高入官取地戸村永海寺に
華法寺一區あり
但右の寺は山田の所領に属す
公領寺細く事少
享保年中、所定寺地焼付に
田化焼失に後、所領寺地
水附寺地は、所領寺地
所領寺地、利元、所定寺地、所定寺地
所領寺地、利元、所定寺地、所定寺地
所領寺地、利元、所定寺地、所定寺地

所定寺地、利元、所定寺地、所定寺地

所定寺地

武元國寺、所定寺地、所定寺地
三、所定寺地、所定寺地、所定寺地
村、所定寺地、所定寺地、所定寺地
所定寺地、所定寺地、所定寺地、所定寺地
所定寺地、所定寺地、所定寺地、所定寺地
所定寺地、所定寺地、所定寺地、所定寺地
所定寺地、所定寺地、所定寺地、所定寺地

女子

中世也

樹本八乃其職自妻

皇親

皇親

皇親

母

母

宣永元元年正月...

大猷後孫...

...

...

...

...

重利...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

和氏

信実

女子

和氏

和氏

女子

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

和氏

宣母 四性如五節
二完以養所正母也
喜 後者 養父以養所和氏喜

利度

虎之助

母 大善 加原至如貞則女

喜

宣曆己亥酉年十一月十六日
博侯後孫所代父原命和氏少善治子死
亦物之喜以令之忠氏以養所居
宣曆八中亥年十一月十四日病死在

嫡孫孫祖任於有死志回年十月十日
死之過也 如可
同九己丑年十月十日和氏原命和
病死在十月十日和氏原命和
利度上 和氏原命和氏原命和
之後有為宣母也死之喜
也永己年十月十日和氏原命和
和氏原命和氏原命和氏原命和

印馬

始為之助 後長也

養母

實父

實母

宣和二年十一月十日

安永二年正月十日

中書省右丞相

以

遠

聖

有

依

天

甲

化

安

一

宣和二年正月十日

安永二年正月十日

中書省右丞相

以

遠

聖

有

依

天

甲

化

安

安

安

天の八世中平 方寸之次上河左左の
上河左 方寸之物 於此所時時二
降此也

寛政元己酉年 方寸之次大田田前
河左之方寸之物 於此所時時
於此所時時

城江江心秋等 於此所時時

書

村松村三郎信子

養女

養母

村松村三郎信子

実母

日人女

右養女及和十男女 於此所時時
布施孫多 於此所時時

寛政元己酉年 二月 養女養女

右之通 於此所時時

方寸之次 於此所時時

津原長尾安山新田庄年抽

知事村定

武原國八田村

馬山村
如之村

日岡比全取

唐野村
松原村
別所村

下野國河内郡

岩地村
大田村
根田村
川中村
下文村
上吉村

寛政十三年

青

吹向

美

申日十四
松平忠直

法和
千部
○
堀田忠直

系
録

源

西丸半性

松平忠直

堀田忠直

源氏

布苗

苗苗

古傳氏

清白氏

先祖和名皇古式後胤友友所
相傳別流源白傳傳多傳白何未
孫位苗苗相傳白何未傳白何未
孫傳白何未傳白何未傳白何未
苗苗傳白何未傳白何未傳白何未
苗苗傳白何未傳白何未傳白何未
苗苗傳白何未傳白何未傳白何未
苗苗傳白何未傳白何未傳白何未

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏

源氏
源氏
源氏

源氏

源氏

高部中少子... 修... 同... 浙... 同年... 病... 法名... 月... 国... 通... 本

直次

母 出

子... 治... 名... 如... 名

喜 家

天... 一... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

台... 任... 後... 孫... 代... 寬... 永... 以... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

中... 善... 以... 少... 子... 治... 名... 如... 名

寬... 永... 以... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

西... 保... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

以... 修... 自... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

寬... 文... 三... 十... 卯... 年... 西... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

以... 修... 自... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

以... 修... 自... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

寬... 永... 以... 丁... 卯... 年... 月... 日... 少... 子... 治... 名... 如... 名

年月少知考緯

寛文十一年四月日少知於進隱和
隱和料三言儀以下書
年月日少知於所上寺園基儀及
有取等取通以所月
年月日少知於河内設樂郡野向村
於岸山法性寺園基儀知所上
隱和任如名与改所儀
天和元年七月日少知於年八種七
病死衣法性寺上葬

法名

法性寺前住持

直正

新三介

母少知

妻少知

天和九年五月日少知生於所

大藏後孫河内寛永九年四月日少知

河内見仁若日馬代歌上儀

同十二年八月日少知於所上儀

若上儀若上儀若上儀若上儀

延宝二年壬寅年十月五日
延宝二年壬寅年十月五日
延宝二年壬寅年十月五日
延宝二年壬寅年十月五日
延宝二年壬寅年十月五日

直言

富国文三

也

王去俄化名名生
王去俄化名名生
王去俄化名名生
王去俄化名名生
王去俄化名名生

直悟

水田

也

大藏院孫山代

慶安三年己未年
慶安三年己未年
慶安三年己未年
慶安三年己未年
慶安三年己未年

也

也

也

日松野長吉
日松野長吉
日松野長吉
日松野長吉
日松野長吉

母 〇〇〇
女子 〇〇〇
母 〇〇〇
〇〇〇

直親

母 〇〇〇

喜

〇〇〇

年月 〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇

〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇

直好

〇〇〇

母 〇〇〇

直時

母 〇〇〇

〇〇〇

女子 〇〇〇
〇〇〇

直豐

母 直

十有月 西曆

母 直

喜 直

年月日 直

直

延至二十二年 直
直
直
直
直
直

直
直
直
直
直
直

直亮

直

母 直

喜 直

直

直
直
直
直
直
直

正德元年正月十日
知前年志氣
...

直方

...

右... 直先... 故後
...

直好

...

母 日... 吉... 子...

直好 直好

年月...

正... 氣... 物... 下... 或...

天和九年正月十日 病死年
少初病令一日 遺言 下苦美中書者
葬 法名慈光院 瑞雲全祥

直竹

教馬 幼圃之忠

母 日祐性長少命 吉次女

喜 平院河所出 因幼少信之 德善

實父文 其己年月日 幼生以府

常憲 源孫少代 天和九年正月十日 病死年
教馬 幼圃之忠

志麻子 幼圃之忠

天和二年正月七日 十日 幼圃之忠

其母 志麻子 幼圃之忠

同日 志麻子 幼圃之忠

志麻子 幼圃之忠

其母 志麻子 幼圃之忠

通少 志麻子 幼圃之忠

志麻子 幼圃之忠

同日 志麻子 幼圃之忠

志麻子 幼圃之忠

述言... 法... 功... 法

直子

石... 神...

吉女

吉...

实父

实...

实母

实...

喜

喜...

天和九年...

常...

吉子...

吉...

吉...

吉...

吉...

吉...

吉...

吉...

吉...

吉...

河本如子乃正室也

大御所攝子如子乃正室也

言能丹羽如子乃正室也

寛延三年七月廿五日如子乃正室也

出子如子乃正室也

河本如子乃正室也

寛延三年七月廿五日如子乃正室也

如子乃正室也

小室如子乃正室也

曰七丁巳年九月廿五日如子乃正室也

建長元年下谷泰字守以葬
信長愛相流其山道解

如子

母 昌隆如子乃正室也

乃正室也

如子

母 永貞如子乃正室也

年如子乃正室也

延享四年正月如子乃正室也

泰子号小蘇号 虚岳院 子定素子

女子

於甲午年去西京事

母曰

女子

母曰

乃外子也

重經

乃系 初九子

母曰

喜

德多子

德曰此子恒信也

實之保元年酉年同日去生也

信信後錄

宣曆七年七月二十日 王公大臣等

於通家自以下至方西危臨以多

正信後少事法也八本重之命子紀成

曰八世去年三月十八

所本此而信信月也紀成之代

明和之己丑年 丙月十九日長田誠中

子紀成 田人子紀成

曰八年 卯年九月也 山少信信事

信信分 卯年 卯年 卯年 卯年

安永四年七月廿一日
羽子方所行

同年十月廿一日
羽子方所行

同年十一月廿一日
羽子方所行

同年十二月廿一日
羽子方所行

天明元年正月廿一日
羽子方所行

天明二年正月廿一日
羽子方所行

天明三年正月廿一日
羽子方所行

天明四年正月廿一日
羽子方所行

天明五年正月廿一日
羽子方所行

天明六年正月廿一日
羽子方所行

天明七年正月廿一日
羽子方所行

天明八年正月廿一日
羽子方所行

天明九年正月廿一日
羽子方所行

聖旨於改修此條... 完...
 同日丁巳年四月... 於...
 甲申年... 於...
 大...
 年...
 中...
 小...
 所...
 其...

東

有知

母 前向安房守 孫貴子

子

母 曰

于世

右... 通...

今... 乃...

在國...

法...

生國...

古...

未... 十一歲

實... 十... 年... 青... 此... 向... 數...

為

源

先紀書

未上り大と
少少幼多坊 女也

法利源氏
子少方三著。○ 堀田宮子也

中書所記
少少幼多坊 女也
堀田宮子也

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

清和源氏

本苗工治氏

當苗治守氏

先祖清和天皇之古代之後胤之裔部

賴清別流治守氏治守清貞七代

孫治守清正忠利正

孫治守清正忠利正

家之政

日新

治守清正忠利正

清和源氏

利正

治守

母

喜

年月日名

公任源孫治守氏年月日名

大藏源孫

源孫治守氏源孫治守氏

源孫治守氏源孫治守氏

源孫治守氏源孫治守氏

源孫治守氏源孫治守氏

延宝九年二月廿五日
作所加給之旨依陸奥守
信之
同日未年月日
法名 鐵山宗堅

改信

陸奥守 権左衛門

母 富子
喜 石之

年月日

前石段孫河代

延宝九年三月廿五日
野長門守他所著入
元禄九年
徳小寺所取中野
郡長多利常
年月日
控

甲子

正徳六年丙申年正月七日

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

修名 織田ノ也

女子

二四番山ノ

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

母

女子

乙丑

丙申

母

女子

喜

山ノ

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

年月日

正徳六年丙申年正月七日

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

修名 織田ノ也

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

我引ノ向即故ノ村小孫有孫

宋女子死子歿

皇朝子年四月六日卯通臨在

作有

安永九年子年十二月九日卯子死

位或引内同部地之利永海寺在

号 藤原院大統茂園

以縣

内之

母

新田丹波高利内女

妻

善治元年正月九日

卯子年正月十日卯子死

年月日卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

卯子年正月十日卯子死

同己未年四月丁酉，由并州始成
同己未年十月十四年甲子初九
御引入同州城，村永保与并
法名景雲院寒光寺僧

某

子世

方月

母

劉 修田母修利由廿

政弥

洋正

母

方月

某

海泉

母

方月

右通系系

近享以丁卯年三月十一日修田母由政

温孝子方月

印及海泉 年人

政房

母

方月

孝子

方月

家曆壬午年正月甲子初九日生

安永八己未年十月廿五日乙未改胎

美病年十月廿五日甲子初九日生

冲之續忘年人依美書子修利由

与初生甲子初九日生

見辰子年三月廿五日亥時生
 父母年方於酉一子門元休西利在
 甲辰之歲以殿以所後中書以知兩升
 明初元辛巳年正月十日亥時生
 葬北土方身 東地流職志善心
 明初元辰年正月十日
 天明六年正月十日亥時生
 作所也此不於燒矣作所也此細
 之身也知國作也知書記中之也

改年

改年 改年
 改年 改年

孝母 改年
 實父 改年
 實母 改年
 喜 改年
 明初元甲申年正月十日亥時生
 天明元辛巳年正月十日亥時生
 病身也知國作也知書記中之也
 改年也知國作也知書記中之也

初九日

同年九月七日書文臨武相遠私以中
至多者 松平周治等及以所為書法
知本并皆如之記好也

同年十月十日所寄親身代款之件
佳月心札中之

同日甲辰年九月十日 兩九山學後者
水谷伊勢守他諸書入紙所好也
四日乙卯八月十日所後亦初好也
此初身之好也

同年乙酉年九月十日 通書所入也
作所 菅原之勝正与記好也

定之元乙酉年九月十日 亦未後者
与記好也

同二年九月十日 勝利
上覽之被作所相初也物所好也
同年九月十日 亦未後者与記好也

實教八月十日 亦未後者与記好也
他生所文在人所好也亦未後者
則三月十日 亦未後者与記好也

在斯法恩者不常也十許生於文士
世之相對始於此後有於此也
同年十月十日於此也此後有於此也
安處對馬島殿此後有於此也
幸中海也

在通而居之之洋風居於此也此後有於此也
予亦多不著也
宣統元年正月
於田次也
幸中海也

申之月十日
松平内通也

此和作也
予亦多不著也
松平内通也

先和書

川和書

你

松平内通也
松平内通也
松平内通也

源氏

源氏 堀内之別御

平苗

源氏

源氏

源氏

高苗

源氏

源氏

源氏

先祖源氏天皇十代清胤去政帝命於清別流
清河伊豫守滿貞何由居位家名源氏清河
滿貞之代源氏清河何由居位家名源氏清河
高河清河次多治政廣家名源氏清河

源氏清河滿貞之代

源氏清河

源氏清河

源氏

源氏

源氏

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村
源氏安之原高年日月不知其村

源氏

源氏

源氏

源氏

孫成國事...
 三所...
 六月...
 後明...

西元...
 其...
 相...
 其...

後親...
 而...
 所...

女子

母

家女

...

正孫

母

家女

...

年...
 其...

女子

母

家女

...

利昌

東山所

二指氏

母

女子

宣政寧寧年 十有五年 志吉向三任死下、子敏
神藏作

利賴

元修命

婦

甲府朝富

蟾屋氏之正約女

母

女子

妻

甲府朝富

兵部大目精賢女

延享元年 甲子年 月 日 志吉向三任死下、子敏
十有五年 利賴朝富任下 志吉向三任死下、子敏

心懸多遠 漸強云 正約甲府朝富正約女

清切東野多像云 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

中野多十俊 同人志死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

甲府公家 志吉向三任死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

清月之志 志吉向三任死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

正約甲府朝富正約女 志吉向三任死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

清月之志 志吉向三任死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

同日九月 志吉向三任死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

中野多十俊 同人志死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

甲府公家 志吉向三任死 志吉向三任死下、子敏 正約甲府朝富正約女

公孫自七遊江... 同年十月... 十月... 秋月... 利彦門人... 改明

改明

母

女

安永五年... 大正...

利色

母

女

今村...

女子

母

女

初婚... 新刊...

美子

母

女

女子

母

女

利子

母

女

山...

安永二年壬午十月十八日村中出定跡也九年
父作目口作行可原初由大之孫遠江守之流成
定跡八為居年二丁有方所方報了代故上
結目口沙乳中上向年十二有方所方報了代故上
山由習し作行可原初由大之孫遠江守之流成
於所山守此所廣縁流例 上定跡初也其同
於南一方山留取 安永初了之故也其後其重
結編其及有取信同年乃所用本初有安
本上川山所 所成其方利也其有同月方有
於法也其後其流取 安永初了之故也其後其重
所版之取取信也 父利取也其後其流成

流長其川版控例作流信

利長

母 姓長 又長系 又長系
母 甲名取也 兵野乃勿結續也

定跡也其年十二有方所方報了代故上
其取跡也其後其流取 安永初了之故也其後其重

女

母 姓長 又長系 又長系
母 甲名取也 兵野乃勿結續也

利董

信藏

母 甲名取也 山本其取取也

定跡也其年十二有方所方報了代故上

有日方有... 自始... 法福...

利一

母 甲... 乙...

御目... 丁巳年... 丙午年...

在... 地...

高... 山... 水...

宣... 丁巳年... 丙午年... 借地...

宣... 丁巳年十月

張... 市

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

系傳

三ノ木ノ
山本系長後中ノ

清和系ノ
子部中ノ
○ 加部系中ノ

山本系中ノ

山本系長後中ノ

新

鴻田系中ノ

法和保姓

雜紅

九星

五帝紅

九星

魯中北道

鴻田

帝級

九星

帝級

魯中北道

之祖修回甚素膠政中世亦不巨麻致之細利居任
後培山孫正少新嘉隆 弘治 石野政十二代 弘治
祖修回伊勢守 康道 皇利 弘治 弘治 弘治 弘治
修回 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

新皇 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

成之相

母 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
喜 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

弟 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

常憲院 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

之者

瑞壽院 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
十月十三日 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治
弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

文昭院 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

瑞壽院 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治 弘治

有喜慶家所代正德四年年十月廿七日從弟在
通所之台作行 同六年五月廿七日
其後乃隨名轉 同十乙巳年四月廿九日
齡七十日葬天玄宗約世考院号盛相院同山

成身

母

喜

母 野野東伯 女
喜 福平知 右白系親母
年同月日
元祿二年二月廿七日

有喜慶家所代正德四年年十月廿七日從弟在
通所之台作行 同六年五月廿七日
其後乃隨名轉 同十乙巳年四月廿九日
齡七十日葬天玄宗約世考院号盛相院同山
院系 慎實社

貞長 白須大助

母 家母

享保十二年三月十日 家母白須之馬
政親家の子 久文 三年二月十日

女子

母 家母

女子

母 同上

女子

母 同上

年月日 不知 此 貞長 以上 出 初 年 忌
元禄十二年六月十日 死

母 家母 久志 年 原 家 信 書

貞恒

母 九門 早世

左向 家母 信 結 女

某

母 專治 早世 家母

某

母 家母 家母

盛敷

母 家母 家母

養母 家母

實父 典藥 家母

實母 以 初 年 忌 家母

半井 内 通 氏 成 康 政 男
家母 岡田 氏 家 信 結 女

元文九年八月廿三日生

信院様御代寶曆八戊午年十月廿五日養父
由基高所置負丸之養子以作行向十
庚辰年十月廿五日所目見行向十月廿五年
九月廿八日遊歷任分沙中住下里高合作身内并
伊勢守地又所切米三石餘以用和之西年
十月廿五日未得小吏地一高所養父歸或此西邊
以下至安永九年八月廿五日卒年四十四
約之世之院上葬法名澄之教院秋葉津平云

澄之睦

母 高直所

初養之助

母

高直

明和乙丑年十二月所由在寄置敷取高直所

女子

母

高直

由基高所置負丸

女子

母

高直

野高直所置負丸

女子

母

高直

久志中在寄置敷取

澄之睦

母 高直所

初養之助

養母 山初定味任

岡田高直所置負丸

實父

由基高所置負丸

實母

高直

壽 善壽有り

石野平江村居次心

右宮殿天保五年二月六日公孫白難列作

後壽紀伊松本 山内俊之入湯姫女

明和元甲申年十月十日 伊予守生

寛政八戊寅年十月和宮父政白高野御殿貞

甲子年八月十日右宮守御殿敷書子守

那古長後和生作明和二乙酉年十月

壬辰年八月十日作守宮水九子年八月十日

敷政式上守白高野守子紀伊松本四年十月十日

此中々天明元年三月十日 和宮守御殿書子

守宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

和宮守御殿書子紀伊松本四年十月十日

長柄部 市切村 地所 〇〇

倍亮 同田氏

母 〇〇 同田氏 倍維女

實元政 在子年十二月 有子 小童 以他後 能
倍亮 有子 同田 倍年 倍院 有子 子 〇〇

某 〇〇 〇〇 早世

母 〇〇

女子

母 〇〇

實元政 在子年 有子 水 〇〇 〇〇 〇〇

女子

早世

母 〇〇

女子

早世

母 〇〇

成良

信 〇〇

母 〇〇

石野 氏 〇〇 〇〇

聖明

森 〇〇

母 〇〇

山川 氏 〇〇 〇〇

女子

母 〇〇

有通河原口以上

字又百石 中房玉
上編本

中房玉

海風屋美山内月屋美印

寛政十七未年九月

鴻田甚家

未三十八歳

五

未青十五
若谷信家

信和傳氏
五松丸者。 鴻田甚家

系傳

美之加
十三日
係

筆淺書
若谷信家
鴻田甚家

清和源氏

年首上改

晴田氏

晴田氏源氏滿月孫清田氏源氏直
改以 魏帝宮門宰相餘年仕治

實承早於年月不知

古德院院上正正出花鳥書以年月不知

一為承元清田朝子直承其方後也

一

壽一改

九月三日刻御筆書

家一改

九月三日刻御筆書

啓一改

年拾掇

直務

母

母

妻

妻

實承早於年月不知

慶安二年官年月不知

大德院樣所代新親正正出花鳥書以年月不知

他出若相初書是以此性也

常憲後孫

常憲後孫所代述以著其初

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

直寬

志

母

喜

加長年內奉和女

寶文十二年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

常憲後孫所代述以著其初

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

元符七年十月年日月... 常憲後孫

有他處稱所代述以善相初亦在述石川倫等
他之希老善比之有書法入百款
實保言成年以自善方列述所書所
免年書述相初之有內發員全部
取洋銀以書法他作中因法有子紀
其成自年有之有病死在土下書中亦
字与善方親自流實相善識

直良

書母

如為平内書和女

少三行

實父

早薩高以作年書
述為年八行直良三男

實母

早知

書

小善如之善作之紀
無如善之述實經女

元禄八乙

亥年八月日知以善方出生

忠以善直實他實子其如以善方十三行

直良低善方有也

直良如亥年十月日知以善方出生

作有

實保十乙亥年八月日有

有他處稱所代述以善相初亦在述石川倫等

以中... 延元... 延元... 延元...

延元... 延元... 延元...

直經

母

妻

正德... 延元... 延元...

直經... 延元... 延元...

如... 延元...

宣... 延元... 延元...

直榮

母

直榮... 延元... 延元...

直榮

年名

孝母

孝母

孝父

孝父

孝母

孝母

孝

孝

享保八年七月廿七日

直榮

直榮

享保二年

直榮

直榮

直榮

直榮

直榮

直榮

直榮

直榮

直榮

直孝

直孝

母

妻

送作
小川通林忠節女

昭和元年正月十日

德川慶應寺代

力或能与礼一節

昭和元年七月十日

父或能与礼一節

昭和元年七月十日

父或能与礼一節

德川氏

御月見

御月見

御月見

御月見

御月見

御月見

御月見

御月見

御月見

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

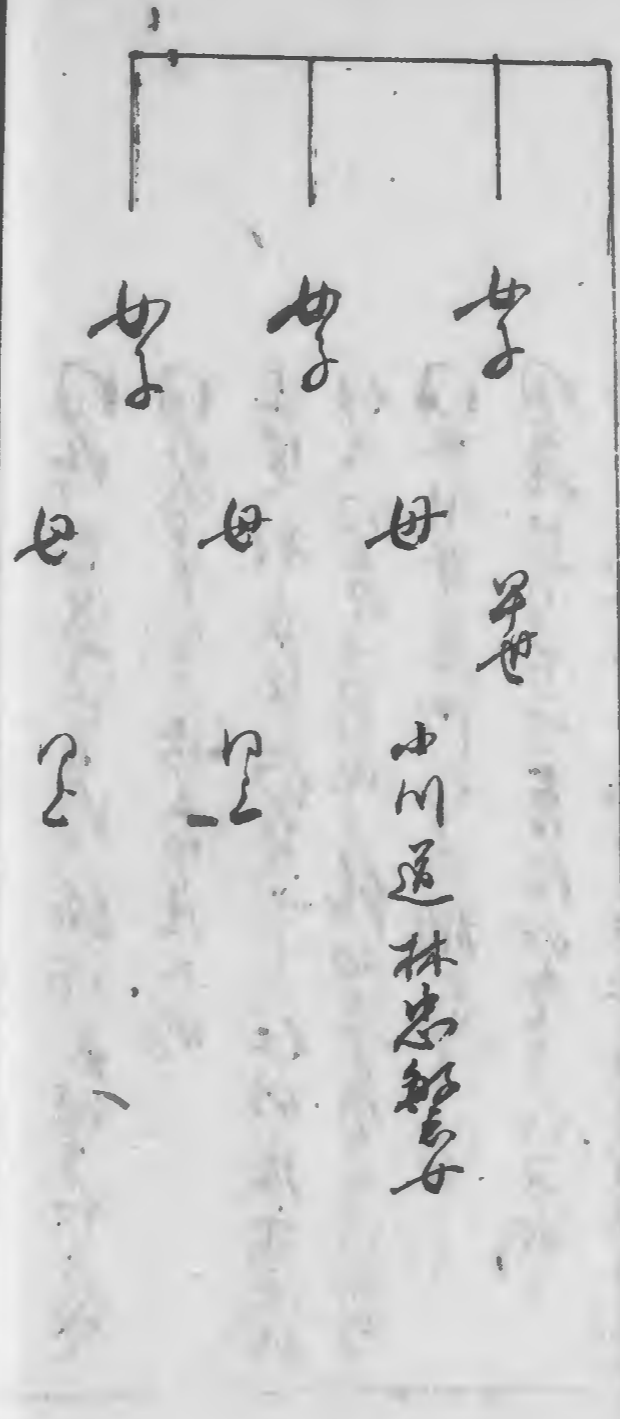
同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

同治元年正月五日新統行

石川四郎新入仕役稻村五郎新入仕役
 浦小市所二月二日通而七郎新入仕役
 對新自新入仕役通而七郎新入仕役



右通中川

高五郎依
 年相冬何津衣
 生國新入仕役

寛政十二年春

石川新入仕役
 五

三七
十二月
一

系

未
書
錄
書

清
五
錄
○
□
地
回
書

半
書
錄
書
回
書

清和孫氏

孫氏

平氏去改沙州巡檢任保書滿貞
ヨリ家名改向卜改中ハ吾叔也

美希改

早指授

家改

三劉 舞花菱

改

三巳初 皇

六孫王經書 度高茂 大膳長久原乳
ノ常改向任後有満貞ノ一ノ代改向
出守守 守改二守

隆政

隆政

如右

母

喜連川盛八賴氏女

妻

妻

實文三癸卯年月日不知何處出生
嚴者之所見 什其昇新上ノ一ノ事知

元禄八己亥年十二月廿二日出守守乳
通源指被任 有喜希 喜依改向母
改向改向 相物別改守守改向
改向改向 有出守守是遠降改向
改向改向 改向改向改向改向

延之家海海軍部

同九月二十日有吉 延之家海軍部
初親被 延之家海軍部
作自 延之家海軍部
以性 延之家海軍部
享保 延之家海軍部
故所 延之家海軍部

日十月乙年九月吉

長他海軍部

日年吉有十日 布衣之修

元文也 未年二月有日 七七七 七九七
身列 向部 地 永 修 寺 葬
法 原 知 延 院 貴 官 津 本

改正

又 延之家海軍部

養母 別 女子 寺 延之家海軍部

實母 女子

天 祿 吉 延之家海軍部

正 德 四 甲 年 年 二 月 吉 延之家海軍部

舞臺子子歌

享保十乙巳年十月廿七

右任院様上初の御自之任に其意に御答返及

候之由

同十二丁未年五月廿五日御座候事

両所著し内御書入に 候御座候事

之由候事以下に其意に御答返及

沙少性地水出御座候事

又文に乙未年三月廿五日御座候事

其意に御答返及候御座候事

其後御座候事

明和丁巳年十月廿七日御座候事

小宮様入に 御座候事

御座候事今御座候事

御座候事御座候事

御座候事

安永二年乙巳年十月廿七日御座候事

御座候事

同十一年乙巳年十月廿七日御座候事

御座候事御座候事

右の湯原

字子保正為平年有能山金奈山藤野云
南原山所住

日十三申年日克

山北山所住相和張洋山竹中守松

書寫此山所住

女

女子

山北山所住政源書

母

女子

山北山所住怒源記

某

湯原

女子

正源書

女子

山北山所住怒源記

山北山所住政源書

女子

女子

元文三年申年日十三申年有能山金奈山藤野云

右湯原山所住相和張洋山竹中守松

山北山所住怒源記

山北山所住政源書

山北山所住怒源記

山北山所住政源書

良音

大和紀御事 檜山 修之丞 如左

明和四年五月十日二十歲病歿

地之日号 元禄院光英子也

久保新助 八十八 子 久保新助

喜母 長門守

喜父 村田長菴 法眼 留和常

喜母 村田杏林院 法眼 留和常

喜 喜父 喜母 留和常

實保 元年 丙午 二月 朔 日 亥 時 生

私名 父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

喜父 喜母 留和常 他 如 左

同日乙未年八月十五日...
小書...
天明六年...
只...
西...
作...

寬政三年...
作...
日六...
日...

同...
日...
步...
日...

也

母

也

右...
空...
子...
啓...

保定

辰子

母

家子

沙月息未作

孝子

實父

日蓮所

村田長菴法眼致和也

實母

家子

實母七乙卯年四月午卒、病死

右、通、沙月息未作

高上之依

中園春河

孫氏屋敷、山石川馬場依

何聖飯

實母七乙卯年卒

鳩田久治

未子年九月

B

一
蘇翁

京山譜

東三月九日
蘇川織部公

蘇京氏
子音四格四番。□
堀田氏

書
蘇川織部
堀田乙三印

為子性

始曰氏

先祖太神冠孫三子代路守后
將軍多卿房胤乃系系之紀

弟一故 九之白之別標

家一故 口口

皆一故 枚標

太神冠孫之後胤

多卿

号五太世八十野太神胤乃其從從下

少孫多卿將軍孫行武胤乃又下野乃

配御五子一 以守延喜年中依

就神傳少海津乃射毫敵就其

謝行一 孫至高乃家亦二也故

難其第一也

世世之所一也

水一編卷被故一之其第一也

其是傳一世一傳乃後方乃一也

朱在云云一守一守年二年守將門

守之命國系一守稱号守親王

推運一守之守一守之守一守

大將軍以晚暮系忠文公所成副
將軍國系下巡行第
五年三年終將門之討七是矣
一身之勤也以此為忠矣哉
下野之國大焉

千時 守時守時守時

千常 守時守時守時

千種 守時

千明 守時

千方 守時

千晴 守時

日銀 大布戶二所修戶和泉
日氏 伊達 常戶 松井等

守時守時守時

公倫 守時

如子 守時

伊波 伊波 江田 守銀 守泉 守和

公行

從五位下 三德外

兼光

從五位下 少輔 兼右近衛少輔 兼左近衛少輔

女子

修行

從五位下

高西 少輔 兼少輔

女子

至行

下野守

賴行

從五位下 主税卿

武行

從五位下 兼少輔

兼行 從五位下 兼少輔

佐賀 足利 谷 剛 兼 園田

田原 佐野 兼 兼子 兼 兼子

行高

太田 兼 兼子 兼 兼子 兼 兼子

兼子 兼 兼子 兼 兼子 兼 兼子

行政

兼 兼子 兼 兼子 兼 兼子

改家

太田 兼 兼子

行光
政光

大田四郎

号は白虎

右明使守 保元元年始 彌次
造 弟 輔定也

祚海 息 良屋 成 志 中 以 彌定 弟
主 孫 隆 屋 不 介 時 志 子 武 天 命 子
四 子 子

而 聖 武 天皇 神 龜 年 延 孫 任 東
山 國 及 延 補 使 下 上 東 友 子 孫

國家を有り 其後年々 如年 貞觀

孫 之 孫 外 在 方 孫 任 也 伊 孫 子 孫

了 孫 任 也 孫 子 一 而 一 時 五 子 子

皆 成 長 田 男 孫 子 子 孫 子 孫 子 孫

行 義 家 陸 奥 子 成 任 如 年 子 子 子

孫 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

孫 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

孫 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

孫 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

孫 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

元元德婦身奇改光武元承并治
玉汝向揚州改與任有光稱身好
曰歌行也

政常

号中何舒 正野公孫

行兵

行平下河遠居日

東山年秋海云元昭八
收身之
建久元年以了和家
於教以与味公和成

政子

号名何舒

政子我 善名何

是下河舒与名之五年
和家九弟之

善名 何名何

又何

和家之建久元年之位
和家之九弟之
和家之九弟之

朝政

中何舒

尔政

從名下河舒与 号名何

朝元

從名下河舒与 号名何

政憲

另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

行憲

另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲

另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲 另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲 另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲 另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲 另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲

政憲 另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

政憲 另於四身行 后若方十云本若即仲三處之任列事之任又

任信之母子之知父之權 政憲の意

兄弟或或分 却却 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

政憲の意 政憲の意

賴也

号改白帝后留魏州下

元行

号在山上

思成

号在山上

以牙兵之兵父下一百也信其的也

文信元年八月十日平家遊討

軍即甲斐河内加多々久遠光信

一團(西)の端の市を以て

寄城地有来り遊兵を先

幕下下城

行春

魏州常力下

政妻

改田五部一之

政衛

魏州刑部後名西邊

政行

改白帝

文永元年平家古入亂

去改行 平家古入亂 平家古入亂

平家古入亂 平家古入亂

惟原將軍余

能三好一繼分年費古賦形向以
以家好働不充登又賦和之種亦大
度教之人付天修在亦威快中月
且軍功之化國意征進亦軍家
執事少傳時宗令以威一院又端
之右亦軍利形臨一河波亦亦
城之正亦亦以威一院又端
拓事之中地之折一院又端
以意以時國系亦亦亦亦亦亦亦亦
之次日踏預四院又亦亦亦亦亦亦

不形較自切亦以情一書一河修亦
以亦以之正亦亦亦亦亦亦亦亦
一陳一亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦

名西書下后法正

常政
秀政
時春

時行

名義と申す 在り

延元二年 為氏 氏 氏

有行 因縁也

改行

名義 漢正

延元二年 十一所 為氏 氏 氏

有行 因縁也

時行 切當也

有行 切當也

弘行

名義 漢正

行有

名義 漢正

自和身 弘陽 弘陽 弘陽

政行

名義 漢正

政行

名義 漢正

氏重

名義 漢正

重門

名義 漢正

氏門

名義 漢正 改行重門也

北氏門下之臣名也

氏信 后月部越前守川部城守也

百重 川部守 後越前守川部城守也

勝重 川部守 川部城守也

伯重 川部守 川部城守也

清重 川部守

正重 川部守

重重 七重

重負 川部守

重海 川部守

重種 川部守

重重 川部守

明應元年八月以中納言重重為將軍
我植子方命之通公書之時將軍

家之供也

次員重

川原中 破る

政程

實に重程子也 重由乃重子
切當なる所由也
后重子我上政重なる所由

重義

川原中 破る

貞弘

川原中 破る
切當なる所由也

重尚

太元近三代之事代法名 重尚

永祿五年三月三日 破る
重尚の城指安宅城 破る
大物上正の貞弘重尚何れも重尚
重弘の破る 如山記何れも重弘
重弘の三好早剛村 破る
三好右衛門の子重弘を破る
重弘の破る 如山記何れも重弘
重弘の破る 如山記何れも重弘
重弘の破る 如山記何れも重弘
重弘の破る 如山記何れも重弘
重弘の破る 如山記何れも重弘

大勢攻めしむるに成候に討死也存留
三好討負つて下田工界自に責責勤
十河カ子一若前道公放火依城
中為志也此の負北三好下田時
討死に幸尚軍紀云城守を誘ひ殺
打子お知山一備と即敵敵十討死
味方三人も討死ナリカ子一負カ子川
下田一重尚レニカリレテ引退候川地
籠城候時系敵執事三好修理
重長等感状あり

あつて子依お知送リ軍勢北に任置
安其後為屋尾心合和志者誠
至松永洋正操執事指安ニテモ
三人お生不事子親之人一後丹野之
是若後瑞兵衛方山極東寺住持
也重尚臨海流一房極友五五五
相取ト云者一極東寺住持レテ

天正中平一山治系一重長等討死
レテ云年
天正十一年七月廿五日

法樹院西洞卷和久生

貞政 号水子 因政 伊賀 右衛門 守 知
右 後 守 知

永祿七年 法樹院内 出生

重名 彦和 抄 永祿 七年

改由

号水子 繼 因 法 名 重 田 守

永祿七年 法樹院内 出生

重名 彦和 抄 永祿 七年

父 重 名 彦 号 重 名 永 祿 七 年 法 樹 院 内 出 生

法樹院引細記 城一中 貞政 改由
相生 永祿 七年 中 永 祿 七 年 永 祿 七 年 永 祿 七 年
少 年 乃 重 名 彦 号 重 名 永 祿 七 年 永 祿 七 年
重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号
内 有 彼 等 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号
号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号
号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号
子 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号 重 名 彦 号
元 祿 七 年 信 長 正 子 重 名 彦 号 重 名 彦 号

天正九年信長ノ少細王也滅亡
し以才委細王死定日異人
日九年神宗一城名對也才細
一或知少知信雄威伏し跡下上
日七年信長合戦也才細知自政
定し以才
日八年政由也才少細田代也城燒矣
知才一信少知政由也才少細田代
信孝也信信孝信雄也才細田代
合戦し以才日采田細泉也日采

秀吉也細泉滅亡し以才
信孝滅亡也尾張野分也細泉也
也也細泉也信孝滅亡し後
信孝も一運也才細田代也
一采也一也信孝也細田代也
信孝も一也細田代也信孝も
死期也下進也人一人之也信孝
也信孝も一也細田代也信孝も
也信孝も一也細田代也信孝も
也信孝も一也細田代也信孝も
也信孝も一也細田代也信孝も

兩持家僅あ道う以兵修トラ
以心後念ニミク一類タリ
政由是始也路東ノ田舎又治才有
任州人ホラ友トモラト善名ノ有
立花トモヲ究ルル子孫トモ
述懐耳掃以ノ父松平事多
具見且先年物取用此種燒
古作ノ家傳燒矣洲松平トモ
多事ト下書ヲ得トモ
色ニ今年大政仁トモ熱中セリト

政仁トモノ家傳ヲテリ創筆時改
中年氣ヲ打ラ一節胸痛トモ時年
和長六年十月

政仁 月見院を定名河原トモ
政仁 志行后トモト公政由ノ子成

永禄八年於從城内出生母ハ松永
得正トモ妹重名千松

政仁 以心後念ニミク一類タリ
母トモ

政仁 以心後念ニミク一類タリ

法園系の九世の家、女房
丹藏主三命、掃部極樂寺住
母、改仁向

女子 祿、信考、種、早世、年、長、法、師、也

由依 改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

重助 改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也
改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也
改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也
改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也
改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

父、養、宗、海、師、也

宗次 改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

元祿三年生

寶永十九年二月、改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

女子 知、地、氏、也

字、信 改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

元祿七年二月、改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

宗改 改、向、常、日、實、心、自、願、一、子、也

四郎下著り 正徳四年正月
五郎下著り

元禄八乙酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

元禄十丁酉年正月十八日
作年毎年正月十八日
作年毎年正月十八日

修訂

同日 初七日 著 引 辨 著 年 号
大 久 保 長 門 守 殿 上 后 中 日 出 小 室 孫 氏
久 月 同 情 与 子 氏 上 入
同 年 十 月 九 日 松 本 伊 豆 守 子 氏 上 成
子 孫 氏 上 同 年 八 月 二 日 后 房 若 子 氏 上 成
年 月 二 日 出 知 尚 切 意 治 子 氏 上 成 分 人
子 氏 上 成 所
同 十 日 同 年 七 月 二 日 后 房 若 子 氏 上 成 所 撰
勢 比 中 江 島 院 上 同 年 十 月 二 日 出

至德院 藏 卷 之 三 号 后 土

如子

山 本 氏 上 成 所 撰

浩 明 院 藏 卷 之 三 号 后 土

山 本 氏 上 成 所 撰 后 房 若 子 氏 上 成

山 本 氏 上 成 所 撰 后 房 若 子 氏 上 成

如子

同 年 十 月 二 日 出 知 尚 切 意 治 子 氏 上 成

同 年 十 月 二 日 出 知 尚 切 意 治 子 氏 上 成

同 年 七 月 九 日

同 年 十 月 二 日 出 知 尚 切 意 治 子 氏 上 成

良安

此中久部

母

三浦人

壽助 孫女

妻

幸胤 氏女

父利平 休仕 少善 治 但 由 切 善 治
子 礼 一 年

享保 甲 申 己 丑 年 己 月 己 日 物 成 作

同 年 己 月 己 日 善 治 氏 子 己 日 己 日

相 年 己 日 己 日 善 治 氏 子 己 日 己 日
治 但 由 切 善 治 氏 子 己 日 己 日

同 大 正 十 年 己 月 己 日 物 成 作

子 礼 一 年

口 亦 右 年 己 月 己 日 物 成 作

相 年 己 日 己 日 善 治 氏 子 己 日 己 日

吉 善 院 唯 矣 念 念 善 治

女

己 日 己 日

中 回 己 日 己 日 善 治 氏 子 己 日 己 日

成州

此中久部

母

幸胤 氏女

妻

幸胤 氏女

父之命所成也嘗信也朽木而為之

有紀之命

享保廿一辰年三月廿五日病死

元文九年甲辰年六月廿五日病死

中多由新右補殿也信成也又時

元文九年甲辰年六月廿五日病死

子成

延享元年甲辰年三月廿五日病死

有紀子成

同二年九月廿日合南宋廿有紀子成

有紀子成

同三年三月廿一日病死

勤者也 作白誓和助之延因所

有紀子成

後

同年十月廿日病死

元文九年甲辰年九月廿日病死

有紀子成

同三年三月廿日病死

同其美年十月十八日 山内氏於其祀所成
曰人其祀之也

皇曆二十二年四月廿六日 村口氏
作其小物金部及清部也

同二十二年八月廿六日 村口氏
金部及清部也

明和二十二年四月廿六日 村口氏
祀所成

安永七年四月廿六日 村口氏
祀所成

天明八年八月十七日 南江氏
祀所成

寛政元年七月廿六日 同氏
祀所成

同元年四月廿六日 同氏
祀所成

同元年四月廿六日 同氏
祀所成

同元年四月廿六日 同氏
祀所成

地所成

相公朝与地中他易院の葬

年十九 看吾院想登 明月信女

也

宝曆二年十月廿九日 病死信女

云此近就眼守の葬年十九

常依院意本 真心 信女

也

宝曆六年十月廿七日 病死麻布の葬

大信守の葬年十九

生道院妙昌の信女

成之 相向の葬

宝曆元年七月廿九日 病死信女

相公朝与地中他易院の葬年十九

尔德院の理一の葬

成之

也

書 元四年 幼少 山家 幼少 信女

相公朝与地中他易院の葬年十九

相公朝与地中他易院の葬年十九

妻女

宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日

夫人

宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日
宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

宣統元年己酉年四月廿五日

一
係

系譜

未三ノ大分
堀田三郎公知

氏和傳氏
子或方京。堀田三郎公知

小書以館物同三條元

堀田三郎公知

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

節... 幕... 政... 年十月

政望

高 母 大野...

文昭院... 政輝... 之...

右... 宣保... 十... 年... 同... 野... 物... 氣... 誠... 院... 學... 道... 生...

政直

世 後人

大野...

石浦并城中之紀事... 元正元年

十月

有德院孫河洲中人... 同年七月... 向後... 同八月... 留相...

十月... 河洲...

河洲... 亦井... 世... 亦... 亦...

女子 早世

母 女

政 員

知名地所部 後常日

長母 山人離魂之地中山系初寄名女子

宣文 實語書原花磯田以筆法政望男

宣母 女

書 山系系原籍在河内系南利長女

宣女 河内延政所妹

寶曆八月廿九年八月廿九日生

清明院様所代長女清河系部政望男子清在

男方長女宣文清河系部長女宣文清河系部

清藏奉御相勅の長女宣文三年十二月廿

春の御書山村信忠の長女宣文三年十二月廿

年中月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

八月廿九日御書山村信忠の長女宣文三年

予居子紀世居在相向之邊乃向家也故其作汝
以居華之邊也汝相方乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

右之進也乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

定於己未年十月

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

未四十二歲

未十月乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

系譜

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

源姓
鴻田

法和天皇分治田志也并成氏迹
勘代一同上家名故不似別種書
載中

家之紋

花菱

鳥之紋

扇丸

藤之紋

古菊

源田志部成氏嫡子

道則

七代

母是

善和不知食成氏女

信成生

天正十三年年日不知成田助成信成
一別志成之甲成信成物村下成信成
明曆元乙未年十月十日甲成信成物成
高元乙未年十月十日信成物成通成
甲成信成物成福成信成物成

正辰

三

母 倉藤氏 女

喜後人 倉藤野原氏女

中世末目麻部之加村氏生

實文云西年年月日

法福後孫於梅田所殿之公也切其不依

以下至甲辰川際有以之所有公料

三務依津地也

延喜又丁巳年月日不知於通陽在

何月不知何所傳述通陽以下至

未顯三巳年四月日不知何物也
年不知何所洞林雲洞
牛迹記雲山石跡有葬

通行

海

母 倉藤野原氏女

延喜丁巳年月日不知何物也

於通陽在何所不知何物也

以下至甲辰川際有以之所有公料

三務依津地也

勝亨

七十九

母

全無於后之人也

喜而忘相口語之

廿

生甲寅年

延慶元年也年九月十日

信福院保正院田中殿之

三人被於下主心慎自

貞享元年甲子年九月十日

以下之知名可保之人被於

元禄十二年辰年七月十日

名示之知

甚矣

母曰

年九月十日知信正院

年月十日知信正院

名示之知 甚矣

母曰

年月十日知信正院

勝通

七十九

母 女

妻 子

生以辰

天保十三辰辰年三月廿四日申刻父先達
而此年亥刻母他英蘇地同分

通正 廿九日

廿九日

廿九日

生以辰

天保十三辰辰年三月廿四日申刻父先達

引以若中人他日申刻父先達
天保十三辰辰年三月廿四日

文昭隱様西下しり方命し以辰辰

同年三月廿四日亥刻西下海若り以辰辰

正徳二十五年三月廿四日申刻父先達

天保十三辰辰年三月廿四日申刻父先達

有任隠様西下しり方命し以辰辰

同年三月廿四日亥刻西下海若り以辰辰

号忠藏宗子哉 葬地同分

正徳 天保

母 植 孫 氏 廿

年月日 不悉 楊 田 所 爲 由 詳 具 于 后 略 白
孫 氏 孫 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

道 相

平 甲

母 氏 廿

兄 十 年 日 道 氏 氏 氏 氏

道 相

平 甲

年 氏 廿 年

年 氏 廿

年 氏 廿 年

年 氏 廿

年 氏 廿

年 氏 廿

年 保 巳 己 亥 年 十 月 日 兄 十 年 日

道 正 氏 廿 年 日 道 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

日 天 子 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日 年 日

日 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

日 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

日 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

日 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

日 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

延享元七年十月十日
信長五福の是子孫也

道長

母

母

母

母

延享元七年同十月十日
信長五福の是子孫也
信長五福の是子孫也
信長五福の是子孫也

信長五福の是子孫也

同年月日不知是扶約之人持約

和名内百依持人持約

宝曆三年丙午年八月

於通書以

若永也

年定号

道定

母

母

寶保元年丙午年十月十日

不知其年以何月

女子 初志 田村彦以新 妻

母 妻

善通

善通印

母 妻

無妻

生以何

安永己未年七月八日父以月外通已

修以也對以他思往外就子死成

天以二兩平年六月廿日西京十人領所

以善入以以月長田理屋子能成何日

以持約七人持約以子無初以內右儀持人

持約以子無

同年九月十日

治以後樣荒洲有向年三月十日 河津九初

以以何

同八代申年五月十日初氣身外以通

小善治以以 以以何內以以子死成

安永己未年四月十日中府領以中善

任官 任有大夫係遠江守正統成
同年十月十日於中府部内新立子孫
屋敷在東北全公每降使任
同年十月十日於中府部内新立子孫
同十年十月十日於中府部内新立子孫

道 潤

平五郎

母子

道 芳

宗吉

母子

三善

生以房

道 之

由元

母子

女子

母子

右 通 四 郎 正 統 成

高 百 依

在 南 信 忠
生 南 氏 氏

任 依 氏 氏 中 府 部 内
新 立 子 孫

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

宣和元年正月十日

源姓

源田

修習古原道跡の田原白虎子孫
是の裔名源田と稱す

源之紋

花菱

源之紋

扇丸

源之紋

右馬廐

源和天皇

四品中務所
貞統親王

経基 陸奥守

経幹 権守

頼信 陸奥守

頼成 侍

義光 新羅守
形勢悪

義成 平賀冠者
形勢悪

義信 大内守
形勢悪

朝信 依仁守
小野冠者

時頼 室戸門流人

時村 小野小右衛門

義行

右衛門

政信

少將

義信

少將

義康

少將

原道

少將

少將

隨是利

原道天皇幸寺休書時隨大將孫

河出治田原孫之家名孫治田代

用之但身月未詳建武元年討死年

四十二歲

道茂

内記

屬武田形部左衛門信茂乃武田隆興子

信春應永二年八月年

道盛

七十九

屬武田右衛門信滿乃武田隆興子

信重應永二年二月年

道圓

外記

治承

屬武田形部左衛門信重

承正二年生

通序

信守及我田

信守及我田
信守及我田
信守及我田

原忠

信守及我田

信守及我田

信守及我田
信守及我田
信守及我田

原通

信守及我田

信守及我田

信守及我田
信守及我田
信守及我田

原成

信守及我田

信守及我田
信守及我田
信守及我田

成氏

信守及我田

信守及我田

信守及我田

信守及我田
信守及我田
信守及我田

通則

信守及我田

信守及我田
信守及我田
信守及我田

友之生國事係并母喜亦多細
山公傳事之新書於書載之

右清和三年冬
沙流之山

字和丸
清和三年十月
陽和

字和丸
清和三年十月
陽和

